

強みのアピールにつながる多様な J A S 規格の制定

- 農林水産・食品産業の競争力強化に向け、①品質、技術、取組を平準化し、生産・流通・消費の効率化・合理化を図るツール、②創意工夫ある産品・事業者の品質、技術、取組を差別化するツールとして戦略的に制定・活用。
- 生鮮品など品質が変化するもの、ノウハウなどの秘伝や営業秘密が絡むものにも規格を活用したアピールの途。

モノの品質の規格

- ✓ 例えば、ビーガン向けに、動物性原料を含まないことを規格化



新市場の開拓に寄与

事業者による取扱方法の規格①

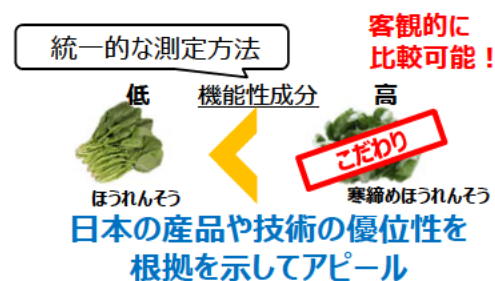
- ✓ 例えば、鮮度をアピールするため、保管・輸送方法を規格化。能力を有する事業者を認証



認証事業者が扱うので「新鮮」とアピール可能に

モノに関する試験方法の規格

- ✓ 例えば、日本産品に多く含まれる機能性成分の統一的な測定方法を規格化



日本の産品や技術の優位性を根拠を示してアピール

モノの生産方法の規格

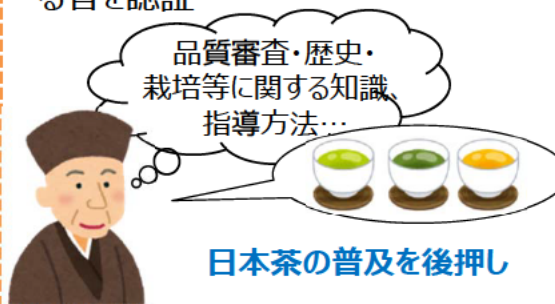
- ✓ 例えば、粉末茶が海外市場に広がる中、我が国の伝統的な抹茶について、その一般的な製法を規格化



「本物」を類似品と差別化

事業者による取扱方法の規格②

- ✓ 例えば、伝統的な日本茶文化を正しく広めるため、必要な知識と技術を有する者を認証



日本茶の普及を後押し

用語に関する規格

- ✓ 例えば、農業で活用するデータについて、農作業の各工程の名称を統一



情報集約・分析、農業生産が効率化